

フォーラムだより

城北旅館組合、周辺六町会 合同自衛消防訓練



10月14日（水）に城北旅館組合と周辺六町会合同の自衛消防訓練が行われました。5月におきた川崎の簡易宿所の火災を教訓として、火災などの災害に備えるとともに、協力して消火活動にあたるため、城北旅館組合と周辺六町会が8月に災害時応援協定を結び、この度、初めて合同で訓練を実施し200名が参加しました。

今年には簡易宿所等で火事がおきたと想定し、周辺の宿泊所や町会の方も応援にかけつけ、日本堤消防署の指導のもと、初期消火の訓練を行いました。消火器やスタンドパイプの設置場所、使用方法を確認しながら消火活動を実践しました。

その後、たなかスポーツプラザのグラウンドに移動し、集合訓練を行いました。



簡易宿所前での初期消火訓練

スタンドパイプの水圧はどれくらいで、水がどのくらい届くのか確認しながら使い方を学びました。消火器材もいきなり使うことができないので、繰り返すことで体が慣れていざという時も対応できます。煙体験ハウスでは、煙を吸わないよう体勢を低くして進みました。煙で視界が悪いので、壁伝いに歩くといいと助言がありました。また、消防法に定められた防災性能基準の条件を満たしている防災物品（カーテンやじゅうたん等）の重要性を学びました。

今回の訓練はマスコミも取材に訪れ、注目度の高さが伺われます。お互いの顔がわかれば協力しやすくなり、地域の絆も強化されます。実際に火災等があったときに活かせるよう繰り返すことが重要であり、大変有意義な合同訓練になりました。



災害時応援協定締結式

8月25日（火）に日本堤消防署において、「城北旅館組合」と、近隣の「日本堤一丁目中央町会」「日本堤二丁目東町会」「浅草町一町会」「浅草町二町会」「浅草東清町会」「清川町会」六町会が災害時応援協定を結びました。災害が発生した際は協力して活動します。

城北旅館組合はスタンドパイプを2セット購入し、地域の防災力の強化に役立てます。

防災訓練(日本堤一丁目中央町会)

10月17日(土)日本堤一丁目中央町会による防災訓練が行われました。当日は雨天のため、いろは会商店街を中心に行いました。

今回は、地震体験車による地震の体験を行い、台東区災害対策課の方より「テーブルの柱の下の方を持つといい。」などの助言がありました。AEDの使い方では、人工呼吸の後にアナウンスの通りに落ち着いて操作しました。その他に、消火器の使い方などの訓練を行いました。

中央通りでは、スタンドパイプを繰り返し訓練するとともに、炊き出しを行いました。



参加者から「震度6を超えると立っていられない。」などの感想がありました。



最後の講評では、町会長より「防災訓練は何回やってもいい。器具の使い方を体で覚えることが重要である。」、日本堤消防署からは「実際に災害があった時、消防署がすぐにかかけることができないこともある。自分達の街は自分達で守ってほしい。防災ハンドブックを配っているのでよく確認してほしい。」などの話がありました。参加した皆さんが熱心に取り組み有意義な訓練になりました。

第6回 ほうらい秋祭り開催



10月17日(土)に浅草ほうらい地域交流スペースにおいて、今年で6回目となる「ほうらい秋祭り」が開催されました。

ポップコーンやフランクフルトなどの模擬店が沢山出たほか、輪投げやパターゴルフのコーナー、職員のギターと歌の演奏やボランティアの方による踊りの披露などもあり、利用者やその家族の方、地域の方など大勢の人が参加して盛り上がりました。